

議会だより

まさき町

No.76

2012年11月1日 発行

愛媛県伊予郡
松前町議会

9月定例会

2P 委員会ニュース **H24年度一般会計補正予算 6900万円増に**

4P 就任あいさつ・予算概要・賛否表ほか

7P



- ・ 命を守る防災対策を
- ・ 国保税の引き下げを
- ・ 深刻化するいじめ問題は

10P **追跡** 「あれは、どうなったあ〜」

12P 公共施設紹介「こんなところですよ こんなこともしています」

平成24年度 一般会計補正予算

委員会 ニュース

総務

●審査内容の主なもの

問 今回の補正予算の財源に普通交付税が計上されているが、何か特例の措置があったのか。

答 特例の措置ではなく、普通交付税と臨時財政対策債の発行可能額が7月に決定されたので計上した。

臨時財政対策債については、当初予算計上額との差額を減額し、

普通交付税については当初予算計上額より多い決定となっているため、今回の補正予算の財源としたものだ。

文教

●主たる事業

- △小学校管理総務事業
- △幼稚園管理総務事業
- △文化センター事業

●審査内容の主なもの

問 各小学校の教材備品整備は、どのようなものか。

答 各小学校の学級数の半分に当たる32台のプロジェクトアクリンとマグネットスクリーンを整備する。



問 幼稚園の就園補助金を引き上げた理由は。

答 平成22年度の税制改正により年少扶養控除が廃止され、所得が変わらなくても住民税が増額となることにより、今まで補助対象者であったものが対象外となる。

そのため、税制改正に伴う影響が出ないよう補助の基準額を引き上げた。

問 第九演奏会への補助金をなぜ当初予算に組まないのか。

答 当初予算の時点では、本年度演奏会を開催するかどうか主催者が決定していなかったため計上できなかった。そのため、補正予算に計上せざるを得なかった。



これからも良い作品をがんばって!! (昨年の税に関する作品表彰)



♪ 昨年の松前町第九演奏会

厚生

●主たる事業

△地域支え合い体制づくり事業

△松前町障害者相談支援センターの設置

△地域環境会議の設置

△松前町健康づくり計画

●審査内容の主なもの

問 地域支え合い体制づくり事業の、昨年の実績と今年度補助申請された経緯と補助率は。

答 昨年度実績が13地区で、今年度は残る地区のうち2地区より補助申請があり、補助率は対象経費の100%である。

問 郵便事業株式会社に委託する独居高齢者の生活状況確認業務の内容は。

答 住民基本台帳で高齢者の一人世帯となっている約2,400人の方を訪問し、実態を確認し、実質独居の方には再度、生活状況アンケートを実施する。事業継続は、何年かに1度の割合で実施するかどうか検討する。

問 償還金について、継続して償還が発生するのか。

答 平成23年度事業の決算で発生した償還である。

問 ジェネリック医薬品差額通知の方法は。

答 本年度は9月に調剤薬局で処方された医薬品をジェネリック医薬品に切替えた場合に、自己負担額が一定以上削減できる方へ通知をする。

対象者は500人程度。実施は、削減通知書の作成及び送付を、国保連合会を通して外部委託する。

産業建設

●主たる事業

△集落営農育成強化対策事業

△戸別所得補償経営安定推進事業

△土地改良事業

△老朽建物除却事業

●審査内容の主なもの

◎条例一部改正
下水道法施行令の一部改正に伴う事務執行の為の改正。

水質基準にかかる規定について意見があったが、採決の結果、賛成多数で原案どおり可決。

問 人・農地プランに関連し、青年就農給付金の給付対象者となった1名の人選方法と周知については。

答 伊予農業指導班及び松山市農業協同組合から数名の候補者の提示を受け、指導班及び農協並びに農業委員会において1名を選出した。周知方法として農業委員会、大字役員にプラ



農業の活性化にこれからも力を入れて

問 町道西古泉・筒井線について

答 西古泉・筒井線の関係者協議用図書作成の為、経費を計上している。

問 老朽化建物除去事業の個人のの場合の補助は。

答 対象地区として、D地区で9万円を上限に、1平方メートル当たり3千円で補助を行っている。



高齢者のひざ・腰にやさしい取り組み



問 人・農地プランに関連し、青年就農給付金の給付対象者となった1名の人選方法と周知については。

問 町道西古泉・筒井線について

問 老朽化建物除去事業の個人のの場合の補助は。

就任のあいさつ



議長
三好 勝利

町民の皆さんには、日ごろより町政並びに町議会に對しまして格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、平成24年第3回定例会におきまして、議員各位のご推挙により議長の要職に就任することになりました。

誠に身に余る光栄であり、その重責を痛感しているところですが、もとより微力ではありますが、決意を新たに松前町の発展のため、様々な課題に最善の努力を尽くす決意であります。

地方分権の時代にあたり、少子高齢化・防災対策への取組みなど生活に直結する重要課題が多い中、町議会が町民の負託に応え、その役割を最大限に発揮するためには、「開かれた議会」をめざし、町民の声を町政に反映させていく必要があります。

議会の果たすべき役割と責任を自覚し、行政とより良い連携を図りながら、一体となって町民の皆さんの負託にこたえていく努力をしてまいります。終わりにあたりまして、町民の皆さんのご健勝とご多幸を祈念いたしまして、就任のあいさつとします。

議会人事

9月議会において正副議長選挙が行われ、次の議員が選任されました。

議長 三好 勝利
副議長 松本 二美

正副議長の人事により委員会などの構成が一部変更となりました。

議会運営委員会

(委員長) 澤田 登代一

(副委員長) 早瀬 武臣

(委員) 加藤 博徳

厚生常任委員会

(委員長) 加藤 博徳

(副委員長) 澤田 登代一

伊予市松前町共立衛生組合議会議員

岡井 馨一郎

決算特別委員会を設置

(委員長) 加藤 博徳

(副委員長) 村井 慶太郎

(委員) 藤岡 緑

(委員) 八束 正

(委員) 寺下 武

(委員) 稲田 輝宏

(委員) 稲田 孔

平成24年度一般会計補正予算概要

■予算総額

(単位:千円、%)

区 分	補正前	補正額	補正後	増減率
本年度	9,199,670	69,352	9,269,022	0.8
前年度	10,040,160	146,561	10,186,721	1.5
前年度対比	91.6	47.3	91.0	

■松前町一般会計補正予算(第2号)主要事業

(単位:千円)

科 目	項 目	金 額
民 生 費	地域支え合い体制づくり事業	2,232
農 林 水 産 業 費	集落営農育成強化対策事業	1,503
	戸別所得補償経営安定推進事業	1,574
	土地改良事業	28,800
	土地改良事業 (県営事業負担金)	10,374
土 木 費	老朽建物除却事業	4,318
教 育 費	小学校管理総務事業 (プロジェクター一式)	5,392
	幼稚園管理総務事業 (就園奨励費補助金)	1,824
	文化センター事業 (松前町第九演奏会)	1,000



9月定例議会

提出議案及び請願への 各議員 賛否表

※ △議長 ○賛成 ●反対 「欠」欠席

議員名	稲田孔	稲田輝宏	加藤博徳	寺下武	八束正	藤岡緑	村井慶太郎	早瀬武臣	松本一二美	澤田登代一	岡井馨一郎	伊賀上明治	三好勝利	木下淳
議案・請願など														
議案第46号 専決処分の承認を求めることについて(松前町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
議案第47号 平成23年度松前町歳入歳出決算認定について	決算特別委員会付託													
議案第48号 平成23年度松前町水道事業会計決算認定について														
議案第49号 松前町防災会議条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
議案第50号 松前町災害対策本部条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
議案第51号 松前町下水道条例の一部を改正する条例	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
議案第52号 平成24年度松前町一般会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
議案第53号 平成24年度松前町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
議案第54号 平成24年度松前町介護保険特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
議案第55号 平成24年度松前町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
議案第56号 岡田小学校体育館耐震補強工事(建築主体工事)請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
議案第57号 松前町教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○

※ 今回の定例会では、請願はありません。

報告事項

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく平成23年度決算に係る財政指標の報告について

平成23年度の早期健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類はいずれも適正に作成されているとの監査委員の報告があった。
(下記表を参照)

条例一部改正

49 松前町防災会議条例の一部を改正する条例

災害対策基本法の一部を改正する法律の施行に伴い改正するもの。

・主な改正点

防災会議の委員として多様な主体の参画を図るため「自主防災組織を構成する者又は学識経験のある者のうちから町長が任命する者」を新たに加える。

50 松前町災害対策本部条例の一部を改正する条例

災害対策基本法の一部を改正する法律の施行に伴い改正するもの。

51 松前町下水道条例の一部を改正する条例

・主な改正点

第13条第2項中「町の職員」を「関係者」とする。

第21条第1号他を下水道法施行令各号に掲げる物質の数値について国の法律が変更時に準拠して使用する。

この点につき、変更した数値の確認を議会の承認を得てからすべきものとの反対もあったが、現場とのタイムラグが生じるという合理的理由を鑑み賛成多数で可決。

人事案件

57 松前町教育委員会委員の任命について

・提案理由

前任者が任期満了になるため委員として再任したいので議会の同意を求めるもの。

玉野聖子氏と、永見修一氏の任命に全員一致で同意した。

○ 松前町選挙管理委員及び補充員の選挙について

松前町選挙管理委員及び補充員の任期満了による選挙。

・委員

藤野 光央

横田 啓元

三好 勝志

本田 眞一

・補充員

済川 康弘

黒田 映

伊賀上 節雄

池内 弘志

(敬称略)

その他の事項

46 専決処分承認を求めることについて

(松前町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例)

投票所及び期日前投票所の投票立会人の報酬額について現在定めている日額を一日の上限額として、松前町選挙管理委員会の規定により適切に支給できるように改正するもの。

56 岡田小学校体育館耐震補強工事(建築主体工事) 請負契約の締結について

工期

議会議決の日の翌日

請負金額金

平成25年2月28日

工事請負業者

4,670万4千円

株式会社 成武建設

平成23年度 健全化判断比率及び資金不足比率報告

健全化判断比率	平成23年度	早期健全化基準
実質赤字比率	—	14.31
連結実質赤字比率	—	19.31
実質公債費比率	13.2	25.0
将来負担比率	94.9	350.0

※ 実質収支と連結実質収支が黒字のため、実質赤字比率と連結実質赤字比率はありません。

会計名	比率名	平成23年度	経営健全化基準
水道事業会計	資金不足比率	—	20.0
公共下水道事業特別会計	資金不足比率	—	20.0

※ 資金不足額が無い場合、資金不足比率はありません。



町民の幸せにつながる健全な行政

あれこれ 町政を問う



松本 一二美 議員

Q. 命を守る防災対策を

A. シェイクアウト訓練を検討する

問

内閣府は、8月29日南海トラフ巨大地震による建造物と人的被害の予測を公表した。

当町も防災対策の見直しが必要ではないのか。命を守る防災対策を伺う。

① 南海トラフ巨大地震の想定発表を受けての見解は。

② 防災対策審議委員に女性登用を。

③ 自治体独自のFM局の開設を。

④ 避難所のトイレ代用でマンホール使用を。

⑤ 中学生にHUGを使った避難訓練の実施を。

⑥ 火災報知機設置推進と障がい者に配慮は。

⑦ シェイクアウト導入を。

シェイクアウトとは

(市民参加型一斉震災訓練)

指定された日時に一斉に同じ動作をする訓練のこと。居合わせた場所

で身を伏せ、頭を守り、揺れがおさまるまで動かないという単純な安全行動をとるのが決まりごと。

答

防災担当副町長

① 現在、防災対策プロジェクトチームの課題

対策班と専門分野別のワーキンググループで具体策を検討中。

② 地域防災計画策定時や見直しの際に招集する防災会議に、女性の参画をお願いする。

③ 防災対策プロジェクトチームで検討する。

④ 避難所となる学校の耐震化の状況などを踏まえ、研究する。

⑤ 今のところ考えはない。

⑥ 今年6月アンケート調査で設置率は43.8%

「伊予地区住宅用火災警報器設置対策連絡会」を設立し、設置率100%を目指す。

障がい者の方には直接説明する。

⑦ 総合防災訓練の際、屋外訓練放送に合わせた住民参加を検討する。

問 子どもたちの健康支援としてミストシャワーの設置を

ミストシャワーは、水を霧状にして散布するもので、水道の蛇口と直結して使用するため電気は不要。低コストだが平均して2〜3度ほど気温が下がる。噴射された霧は素早く蒸発するため、体は濡れることなく、熱中症を防ぐ効果がある。

小・中学校、保育所、幼稚園の砂場、廊下や体育館の前などに設置を要望するが、見解は。

答 早速設置する

学校教育課長

今までも熱中症対策をとっているが、さらなる対策として、費用対効果も十分認められるので、早速各小・中学校にミストシャワーを設置し、運動会に利用する。

保育所、幼稚園への設置は、その効果を見て検討する。

その他の質問

問 不活化ワクチンの対応は

答 接種対象者554名に案内文書を送付済。



岡田小学校のミストシャワー

Q. 高すぎて払えない、国保税の引き下げを

A. 国保税の引き下げは考えていない



稲田 孔 議員



保険証を持って早めに病院へ

問 昨年6月に国保税の大幅な引き上げが行われた結果、町民の間から、高すぎてとても払えないといった声が寄せられている。国保税をこ

んなにも高くした第一の要因は国の国庫支出分が、かつての経費の50%だったものが半減にされたからだ。それに国保世帯の貧困化が拍車をかけ、一層深刻なものになっている。

町広報に、近く引き上げを示唆する記述があり、もうこれ以上の引き上げはすべきでない。それを回避すべく一般会計からの繰入れなどの方策をとる考えはあるか。

答 保険課長

町独自の繰入れも現在も行っているが、これ以上の一般会計からの支出は考えてない。よって、国保税の引き下げは考えていない。

問 住宅リフォームで産業振興を

新築は無理だが、住宅をリフォームしたい。自治体経費の一定額を助成し、地元業者受注を条件にした住宅リフォーム制度が全国で広がっている。利用者からも業者から「有難い」との声が上がり、結果的に自治体の税収向上につながっている。事業化の考えは。

答 耐震化制度の推進が町の施策

産業課長

耐震工事はリフォームを伴うので経済効果もある。現在までに耐震設計の申し込みが2件、そのうち1件が設計完了。耐震化の伴わないリフォームは考えていない。

問 地産地消の拡大で農業振興を

水資源にも恵まれ、古くから米麦を中心に農業生産地域として発展してきた松前町だ。今、全国の食糧自給率は39%に落ち込んでいるが、当町の地域自給率もほぼ同率の水準となっている。生産地でありながら自給率が低いことは米麦を含む地元の食材の利用が少ないからだ。すでに学校給食、直売店などの地産地消の試みはあるがさらなる促進で効果が期待できる。その考えはあるか。

答 地元食材使用のイベント開催

産業課長

地域自給率向上や食の安全確保のためにも地産地消への期待が高まっている。商工会のふれあい広場やまさき村のイベント、食育運動での地元食材を使っている。

問 「災害に強い町をつくる会」に一般公募を

東日本大震災から1年半、国の中央防災会議から南海トラフの巨大地震・津波M9の想定被害が発表された。先に行われた防災訓練に、原発事故の想定が加味されていない。「松前町災害に強い町をつくる会」に一般公募による町民参加を行う考えは。

答 公募は考えていない

防災担当副町長

政府の被害想定には原発事故は入っていない

し、伊方50kmは避難の圏外区域。町内諸団体が構成されるので意見集約は可能で公募は考えていない。

問 伊方原発の安全性の根拠は

伊方原発の安全性について愛媛新聞のアンケートに町長は「ほぼ安全」と従来の見解とまったく違う回答をしていたがその根拠とは何か。

答 追加策は評価安全性は判断不可

町長

伊方原発の追加策を視察、四国電力もかなりの対策をとっている印象だった。それで安全性があるか否かは、専門家ではないので、素人判断できない。



藤岡 緑 議員

Q. 深刻化するいじめ問題に現場は

A. いじめは犯罪であり許されないという観点で対処

問

① 学校教育の現場で、いじめ問題が発展し陰湿で悲惨な結果を出し大きな社会問題となっている。

町内のこの問題についての対策は。

② 全国学力テストの結果から、今後の町内の児童生徒の学力向上に向けての対策は。

答

学校教育課長

① いじめに関して定期的なアンケート調査を実施し子どもたちをしつかり観察する。わずかな変化も把握し、教職員間の情報の共有化などいじめの前兆を見逃さないように取り組んでいる。

「いじめは犯罪であり絶対に許されない」という被害者の観点に立ち、指導、支援をし、早期解決につなげる。

更に重大な問題が発生した時は、教育委員会が主体となり専門機関と連携して解決していく。

問

高齢者の暮らしのサポート体制は

高齢者の取り巻く環境の変化に対応しながら、いかに快適に暮らしているのか、町としての支援体制を問う。

答

地域支え合い体制づくり事業と、郵便事業会社との提携による独居高齢者の実態調査協力で、更なる支援につなげる

町長



町の活性化は、高齢者の笑顔から

町内の人口の約4分の1が65歳以上の高齢者でその内一人暮らしの方が2千人、介護認定の方を除くと約千四、五百人の方々の生活実態が町として掌握しきれていない。元気に暮らせず、問題を抱え色々な情報からも閉ざされている高齢者に対する支援が特に必要になってくる。

本議会で提案した地域支え合い体制づくりは、国の施策を利用して高齢者の集まりやすい環境を整備するものだ。

今回は集会所2か所の施設充実に充てた。また郵便事業会社と契約して職員が配達業務をする傍らで、高齢者の暮らしぶりや困りごとなどいくつかの調査項目の聞き取りなどをする。

情報収集とサポート体制の充実で更なる支援につなげる。

高齢者の相談内容が多岐にわたっても担当課の連携や警察・消防などの各種団体の協力に対応している。

問 その他の質問

町の防災情報収集にフェイスブックの利用は

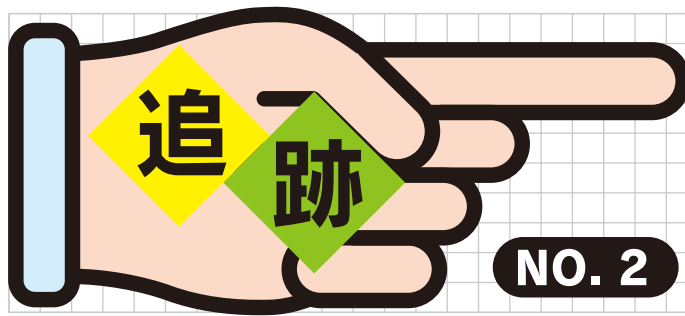
答

防災プロジェクトチームの中で検討したい。

問

教育長の4年間の総括と今後について教育全般について回答があった。

答



あれは、 どうなったあ～



★以前に一般質問や委員会などで行政側から「今後の検討課題」との回答だったものが、その後どうなったか追跡し、さらに住民の皆さんへお知らせしていくページ。

平成18年9月
自主防災組織…33.3%
24地域中 7地域が結成

災害に強いまちづくりのため 松前町自主防災会の充実 防災士の育成 大切

防災は
自助・共助・公助

(個人・家族) (近所・地域) (町・県・国)

防災士受講料を助成します！

平成24年9月 現在
自主防災組織…100%達成
松前町防災士…69名
(内 女性6名)
各自主防災組織が工夫しながら
地域行事の中で防災訓練を実施

*自主防災組織の充実・防災士リーダーの育成を
防災士資格取得に助成を 平成18年9月議会質問

*防災意識向上の取り組みを 平成22年3月議会質問

*地域との連携で自主防災体制の充実を 平成22年6月議会質問

*自主防災組織の育成と地域間格差の是正を 平成22年9月議会質問

*東北大震災後の地域防災強化を 平成23・24年にかけて質問

今後の課題

- 町民全員参加の防災訓練
- 女性防災士の育成で、きめ細やかな防災対策の充実

その後、町の地域防災プロジェクトチームの指針のもとに、自主防災会からも防災士も入った「松前町災害に強い町をつくる会」を発足させた。
(10/22 初回、月1回、6ヶ月間開催予定)



地域自主防災会総合訓練より

町民の声

「議会の活性化」を

塩屋 木村 博

私も地域のお世話をするようになって、時々議会を傍聴する機会があり、今日までに感じたことを若干述べてみたいと思います。

松前町は平成の大合併から外れ、単独で生きていく道を選択しましたね。そうすると交付金の減額、もちろん合併特例債などはありません。

そこで将来の松前町を

考える理事者は、緊縮財政ながら町発展に向けた政策を議会に提案するものと考えます。そして、その政策に質問、疑問を投げかけるのは議員のこれまた責務であり特権でもあります。そしてこれが議会の論戦の場であり、理事者から、問、質問に

対してどのような答弁を引き出すか、議員さんの腕の見せ所でもあります。さて、最終的には提案に対し賛成し決定された事項については、理事者

と議員は車の両輪といわれるように、お互いが切磋琢磨して、町民、支援者に分かりやすく説明し、行政を推進していくものだと私は思います。今9月議会ではあまり論戦になるような議案が無かったのか知りませんが、議長、副議長辞任に伴う選挙がおこなわれ、新しい顔ぶれが揃いました。

議長就任あいさつで言われていました停滞していた議会のありかたや議会改革など、議員の皆さ

ん方のいっそうのご奮闘を期待いたします。



傍聴席

初めての傍聴

浜 Y・M

初めて議会を傍聴しました。

本会議（一般質問）の内容は、女性・男性・女性議員の順で、防災・支援・原発・学校教育・自然災害・高齢者の暮らしと健康等各対策など、私

たちの身近な問題を経験豊かな知見が加わって議論を行っていました。

様々な方面から、議員の前向きな先進的な質疑に対し、答弁する側も明確に回答。ただし、2回の休憩？どこかの議会みたいな居眠りもなし。毎日よくするための議論が、このようにされていることを実感しました。

松前町に住んでみて、

広報委員会からのお知らせ

本会議の様子をライブで中継して、皆さんのパソコンから傍聴できるように、なつて1年以上たちました。

ようやく、このシステムを利用しての方々よりご意見を頂くことも増えてきました。

住民の皆さんに、議会の生のやり取りを見てもらい

「議員自身も緊張感を持って議論に臨む」この形が確立すれば、更に開かれた議会となるでしょう。

★次号から「パソコン傍聴から」の欄も掲載予定です。

★投稿お待ちしています。



傍聴のご案内

住所・氏名・年齢を届けるだけで、どなたでも自由にできます。

松前町議会は、本会議と各常任委員会の傍聴席を設け一般公開しています。

多くのみなさんの傍聴を庁舎5階でお待ちしております。

（次回は12月上旬の予定です）

町民の声の原稿をお寄せ下さい

町政や議会、本誌に対するご意見・ご要望などをどしどしお寄せ下さい。

（500字程度）

【宛先】

松前町筒井631

議会広報編集特別委員会

「町民の声」

Fax 985-4148

E-mail :

500gikai@town.masaki.ehime.jp

松前の公共施設紹介 《第3回》

こんなところですよ! こんなこともしています!

松前町給食センター

給食センターって?

松前町全小・中学校の給食を作ったり、子どもたちに食育を教えたりしています。また、遠足などでの見学もOKです。

どこにあるの?

役場前の県道を東に進み、永田信号交差点から南に入った所です。
(松山生協永田店南側)

1日何食作っているの?

3,000食作れますが、現在は2,800食程度です。

地元の食材は?

減農薬米の松前育ち・裸麦、レタス、ブロッコリーなど、松前町でとれた旬のものを中心に使っています。

心がけていることは?

まずは、子どもたちに安全で安心して食べてもらえるように、徹底した衛生管理をしています。

次に、成長期の子どもたちに必要な栄養と旬の食材を取り入れるようにしています。また、温かいものは温かいうちに、冷たいものは冷たいうちに食べてもらえるよう迅速な運搬を心がけています。

保護者の皆さんへ

食育の基本は家庭です。必ず朝食を食べさせて下さい。人気のメニューは、広報まさきに掲載していますので、お家で給食をお試し下さい。



清潔な
松前町給食センター



徹底した衛生管理のもと、美味しく
食べられるようにつくっています



心のこもった給食を作ってくれる
調理員の皆さん

松前町給食センター
松前町大溝106番地2
TEL/FAX 984-1786



この広報紙は、資源保護と環境に配慮して大豆油インキ、再生紙で作成しています。



議会広報編集特別委員会
委員長 藤岡 緑
副委員長 松本一二美
委員 村井慶太郎
委員 八束 正
委員 加藤 博徳
委員 稲田 輝宏
委員 稲田 孔

暑い夏も終わり、実りの秋を迎えております。
さて、私たち広報委員は何事にも住民目線で見て、聞いて、そして考えて活動をしてゆきます。
皆さんと一緒に、より良い安心と安全の「まちづくり」をしていきましょう。
(稲田 輝宏)

編集後記